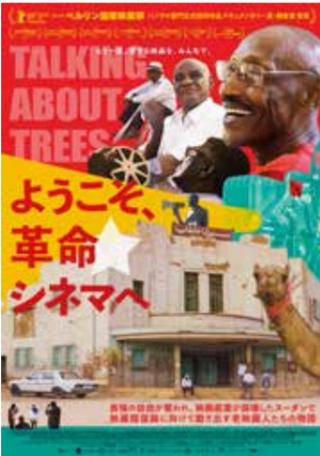


## 映画の新着情報

### 『ようこそ、革命シネマへ』



●『ようこそ、革命シネマへ』  
2019年/フランス、スーダン、ドイツ、チャド、カタール/97分  
配給: アニモプロデュース 監督: スハイブ・ガスマレバリ

4月4日(土)よりユーロスペースほか  
全国で順次公開。

公式サイトは  
こちらから



© AGAT Films & Cie - Sudanese Film Group - MADE IN GERMANY Filmproduktion  
- GÖI-GÖI Productions - Vidéo de Poche - Doha Film Institute - 2019

本作は、「映画をふたたびスーダンの人々のもとに取り戻したい」というスローガンのもと、一夜限りで映画館を復活させるために奔走する姿を描いたドキュメンタリー。国外で映画を学んでいた4人の男性たちは、スーダンで映画を製作して自国に映画文化を根づかせようとするが、軍事独裁政権により言論の自由は奪われ、映画は上映禁止処分となった。それから20年もの歳月が経ち、還暦を過ぎた4人は再会する。さまざまな障害や苦難を乗り越え、強い信念を持って夢を実現させようとする彼らの目を通して、独裁政権下の生活やスーダンの歴史、文化を浮き彫りにする。

### 『ムヒカ 世界でいちばん貧しい大統領から日本人へ』

南米ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領は、収入の大半を貧しい人々のために寄付し、職務の合間には農業にいそむ。公邸に住むことを拒み、質素な暮らしを続ける姿から、いつしか“世界でいちばん貧しい大統領”と呼ばれるようになった。2012年にリオデジャネイロで開かれた国連会議で、人類にとっての幸せとは何かを問うたスピーチ動画が世界中で話題になり、日本では『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』(汐文社)という絵本にもなった。本作は、日本との知られざる関係があるという彼を、日本人若手監督が追ったドキュメンタリー。彼の生き方や言葉に触れながら、広く国外でも愛される大統領になった経緯や魅力に迫る。

●『ムヒカ 世界でいちばん貧しい大統領から日本人へ』  
2020年/日本/98分  
配給: KADOKAWA 監督: 田部井 一真

4月10日(金)よりシネスイッチ銀座ほか  
全国で順次公開。

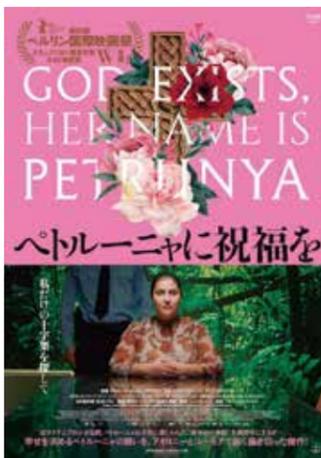
公式サイトは  
こちらから



© 2020「ムヒカ世界でいちばん貧しい大統領から日本人へ」製作委員会



### 『ペトルーニャに祝福を』



●『ペトルーニャに祝福を』  
2019年/北マケドニア、フランス、ベルギー、クロアチア、スロベニア合作/100分  
配給: アルバトロス・フィルム  
監督: テオナ・ストウルガル・ミテフスカ

4月25日(土)より岩波ホールほか  
全国で順次公開。

公式サイトは  
こちらから



© Pyramide International

北マケドニアの小さな町シュティプでは、毎年司祭が木製の十字架を川に投げ入れ、何百人もの男性がそれを手に入れようと川に飛び込む「神現祭」の儀式が行われている。本作は、十字架を手に入れた者には幸福と繁栄がもたらされるという女人禁制の伝統儀式に思いがけず参加し、十字架を手に入れてしまった一人の女性の物語。「女が十字架を取るの禁止だ!」と男たちから猛反発を受け、さらには教会や警察を巻き込んでの大騒動に発展していく。実話をベースに、従来のジェンダー観に疑問を抱き、幸せを追い求める主人公をユーモアをまじえて描いた本作は「第69回ベルリン国際映画祭」コンペティション部門エキュメニカル審査員賞を受賞した。

## 本の新着情報

### 『わたしは分断を許さない』



読者  
プレゼント  
詳細は  
p.38へ

元NHKのアナウンサーで、現在はフリージャーナリストとして活動している堀潤さん。本書は堀さんが、シリア、パレスチナ、朝鮮半島、カンボジア、香港、福島、沖縄など国内外を問わずさまざまな現場を巡り、「分断」の真相を追ったルポタージュだ。今年から東電福島第一原発事故やシリア内戦から10年目を迎えるが、いまだに復興は道半ばで支援も行き届かず、助けを求める人たちがいるという。そんな「生の声」を届け、未来のために何ができるかを読者に伝えてくれる一冊。

●『わたしは分断を許さない』  
堀潤 著/実業之日本社 1,800円(税別)

# JICAカレンダー 2020 SPRING BOOKS & MOVIES

あわせて  
こちら!!

#### 映画も公開中!

堀さんが監督だけでなく撮影、編集、ナレーションまでを務めたドキュメンタリー映画も現在公開中。いくつもの現場に赴き、そこにいる人物のストーリーを通して、分断の現実を映像でも映し出す。

2020年/日本/105分  
配給: 太秦 監督: 堀潤

公式サイトは  
こちらから



## SPECIAL BOOKS

### 漫画で知るJICAの協力

JICAの取り組みをもっとわかりやすく知りたいという人にお勧め!  
ウェブサイトで無料公開している三つの漫画を紹介します。



●『わたしをとりまく世界の話』  
イラスト: 漫画: 尾崎衣良

漫画は  
こちらから



東南アジアで今なお続く、強制的な労働や売春、臓器の売買など「人身取引」の問題を描く。



差別や暴力と闘っているアフガニスタンの女性たち。日本では信じられないような悲惨な状況下においても強い意志を失わず、自分の夢を実現した女性の実話。

●『JICAによるアフガニスタン女性警察官への支援』  
イラスト: 漫画: 井上きみどり

漫画は  
こちらから



●『マンガで知る青年海外協力隊』

漫画は  
こちらから



ブラジルで子どもたちに野球の指導をした隊員や、シリアの幼稚園で「遊びを通じた学び」を導入するなど幼児教育の活動に取り組んだ隊員など、10人の隊員による経験談。

### お家で楽しく学ぼう! 世界と日本のつながり

JICA広報室のSNSアカウント (Facebook、Twitter) では、世界とのつながりや、JICAが取り組む事業について随時情報を発信しています。国際協力をクイズ形式で学ぶコーナーや、途上国の人になって課題解決をするゲームアプリの紹介など、大人も楽しく学べる企画が盛りだくさん。ぜひチェックしてみてください!



[Facebook]



[Twitter]

\*新型コロナウイルスの感染拡大により、映画の公開延期等の可能性がございます。事前に公式サイトなどをご確認ください。